

**【PG-4演習】**  
**アセスメントシートの具体的活用**  
ー「就労支援のためのアセスメントシート」による  
協同評価の演習とグループディスカッションー

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
障害者職業総合センター研究部門  
井口 修一

令和6年度 厚生労働省  
「就労選択支援に係るマニュアル等の開発及び研修実施に向けた試行的調査等業務」  
(受託:株式会社インサイト)

# 「就労支援のためのアセスメントシート」の実施プロセス

実施内容	シート名(Excel)
1. 対象者への説明と同意の確認	(①表紙)②対象者説明シート
2. 就労に関する希望・ニーズ	③Ⅰ_就労に関する希望・ニーズ
<b>3. 就労のための基本的事項</b>	
(1)対象者と支援者による項目の選択	④Ⅱ_就労のための基本的事項 (項目選択用)
(2)対象者による自己評価	⑤Ⅱ_就労のための基本的事項 (評価用)
(3)対象者と支援者による協同評価	演習1
<b>4. 就労継続のための環境</b>	
(1)対象者と支援者による領域の選択	⑥Ⅲ_就労継続のための環境 (領域選択用)
(2)対象者と支援者による協同評価	演習2
5. アセスメント結果シート総合協同所見	⑧Ⅳ_アセスメント結果シート

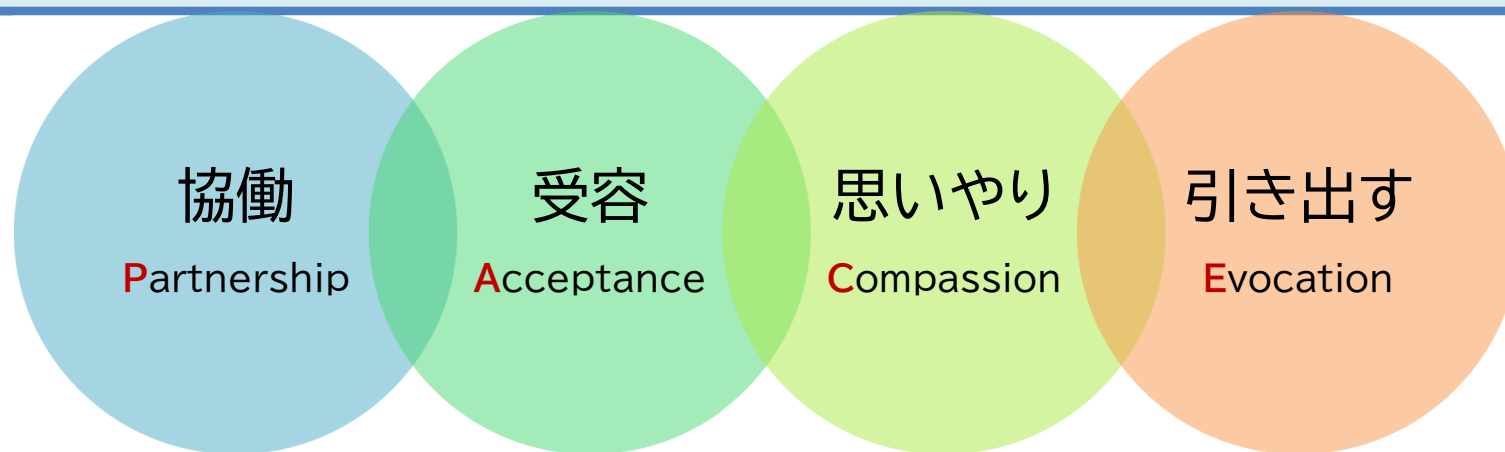
## 演習

- ロールプレイ
- グループディスカッション



## 【演習】協同評価(ロールプレイ)の実施にあたって

- 協同評価は、対象者のアセスメント結果に対する納得感を高め、**自己理解を支援する**ために行う。**対等で受容的な関係を維持しながら進めること**が重要。
- 就労のための基本的事項に関しては、まずは**対象者の自己評価を確認**することから始める。
- 支援者の評価と対象者の評価が異なった場合には、**具体的な事実(観察・体験)を根拠に、両者ですり合わせを試みる**。説得よりも気づきの促しを心がけよう。
- 支援者に対して本音が言いにくい対象者もいるため、**対象者の思いを引き出すことが重要**。



# 【演習1】就労のための基本的事項の協同評価

(参照資料)事例情報・ロールプレイ説明資料1・演習1別紙

ペアの確認  
個人ワーク  
(5分)

- ① ペアを確認し支援者役と対象者役の順番を決める
- ② 事例情報とロールプレイ説明資料1を読み、事例の状況、支援者役の評価、対象者役の評価、それぞれの評価の根拠などをあらかじめ理解する

ロール  
プレイ  
(15分)

- ③ 就労のための基本的事項の「推-8身だしなみを整える」の協同評価を行い、演習1別紙に結果を記載する
- ④ (支援者役と対象者役を交替)「選-17自分からすすんで作業に取り組む」の協同評価を行い、演習1別紙に結果を記載する

振り返り  
(5分)

- ⑤ ペアでロールプレイを振り返り、対象者役が支援者役の対応について講評(良かったところ→気になったところ)を行い、お互いに演習1別紙の記載内容を確認する

## 【演習2】就労継続のための環境の協同評価

(参照資料)事例情報・ロールプレイ説明資料2・演習2別紙

### 個人ワーク (5分)

- ① 支援者役と対象者役の順番を決める
- ② ロールプレイ説明資料2を読み、事例の状況、職場実習での状況などをあらかじめ理解する

### ロール プレイ (15分)

- ③ 就労継続のための環境「3.職場の人に障害のことを理解し配慮してもらうこと」の協同評価を行い、演習2別紙に結果を記載する
- ④ (支援者役と対象者役を交替)「6.職場での適応行動・態度」の協同評価を行い、演習2別紙に結果を記載する

### 振り返り (5分)

- ⑤ ペアでロールプレイを振り返り、対象者役が支援者役の対応について講評(良かったところ→気になったところ)を行い、演習2別紙の記載内容を確認する

## 【演習3】グループディスカッション

### グループ ディスカッ ション (40分)

- ① グループ内の自己紹介、進行役と発表役を決める
- ② ロールプレイで経験した協同評価の方法や対象者の自己理解を促す働きかけのポイント、個別面談場面の留意点などについて自由にディスカッションを行う



### 全体共有 (15分)

- ③ グループで話し合ったことを発表して、全体で共有する

# まとめ

- 対象者の希望・ニーズを丁寧に確認
- 対象者の自己評価を把握するとともに、支援者と対象者が具体的な事実に基づき、協同でアセスメントを実施
- 対象者の能力や状態を個人と環境の相互作用の視点でとらえるアセスメントを実施
- 対象者のストレングスに着目してアセスメントを実施
- ☞ 必要な支援・配慮を検討し、対象者の力を発揮できる職場環境の整備に活用





# アセスメント自己チェック

- ✓ 障害名による予断をもたず対象者を理解しようとしていますか。
- ✓ 対象者との信頼関係を大切にしていますか。対象者の考えを無理に問い詰めたり、対象者の希望・ニーズを難しいの一言で切り捨てていませんか。
- ✓ 具体的でわかりやすい説明をしていますか。必要に応じて視覚的な情報を活用して説明していますか。
- ✓ 対象者の希望や興味関心を大切にしてお働き動機付けに活用していますか。
- ✓ 対象者の課題ばかりに注目するのではなく、ストレングスにも注目していますか。
- ✓ 職業準備性の観点だけで就労の可能性を決めつけようとしていませんか。
- ✓ 職場(環境)のニーズを把握(想定)して、就労を妨げる要因への支援や配慮を検討していますか。